

コード No. 29020

**Anti-Human
MDA5 IgG Affinity Purify**容量 : 100 μ g

はじめに : MDA5 (Melanoma differentiation-associated gene 5)はメラノーマの分化に関連した遺伝子としてクローニングされ、別名 Ifih1 (Interferon induced with helicase C domain protein 1)とも呼ばれる RNA helicase です。近年、米山らはウイルス由来の細胞内二本鎖 RNA 認識に関わる分子として DExD/H-box-containing RNA helicase である RIG-I (retinoic acid-inducible gene I)を同定しました(1)。さらに、RIG-Iに関連した DExD/H-box-containing RNA helicase として MDA5, LGP2 を発見しています(2)。MDA5 はウイルス感染に応答したインターフェロン産生を促進させることが報告されています。一方、LGP2 は RIG-I/MDA5 が関与するシグナル伝達経路の **negative regulator** として機能することが示唆されています。これらの分子は自然免疫系におけるウイルス感染を感知し抗ウイルス応答を引き起こす経路で重要な役割を果たしていると考えられています。

免疫抗原 : Human MDA5 N 末部分合成ペプチド (TIEDRNRIAAAENNGN)

精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製

包装形態 : 1% BSA, 0.05% NaN_3 含有 PBS 1.0mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加 (この時濃度は 100 μ g/mL となります)

保存方法及び : 2 ~ 8 $^{\circ}\text{C}$ 保存 5 年間安定

安定性 : 溶解後 -20 $^{\circ}\text{C}$ 保存 2 年間安定

使用目的及び : ウェスタン・ブロッティング 1~5 μ g/mL にて使用可能
使用方法

特異性 : Human, Mouse の MDA5 に反応

参考文献 : 1. Yoneyama M, Kikuchi M, Natsukawa T, Shinobu N, Imaizumi T, Miyagishi M, Taira K, Akira S, Fujita T. The RNA helicase RIG-I has an essential function in double-stranded RNA-induced innate antiviral responses. *Nat Immunol.* 2004 Jul; 5 (7):730-7.
2. Yoneyama M, Kikuchi M, Matsumoto K, Imaizumi T, Miyagishi M, Taira K, Foy E, Loo YM, Gale M Jr, Akira S, Yonehara S, Kato A, Fujita T. Shared and unique functions of the DExD/H-box helicases RIG-I, MDA5, and LGP2 in antiviral innate immunity. *J Immunol.* 2005 Sep 1;175 (5):2851-8.

実施例 : lane 1:
HeLa cell lysate without IFN β stimulation
lane 2:
HeLa cell lysate with IFN β stimulation

本抗体によるウェスタンブロッティングにおいては非特異反応によるものと思われるバンドが多数検出されることがありますので陽性、陰性対象を用いて試験することをお勧めします。

